

【缶詰に使用されているコーティング剤について】

缶が 120℃以上の高温になると、内側のコーティング剤が溶け出して健康被害の原因になるとの報告があります。

コーティング剤は、金属の腐食を防ぐ為に必要なものとなります。

120℃を超える加熱では溶け出しますが、一般的な用途での使用には溶け出さないように設計されています。

金属缶は直火加熱することは想定されておりません。

極めて高温で加熱された場合、有機膜からの分解物や溶出物に対する有害性について、容器製造企業は「保証することはできません」としています。

缶を温める場合は、直接火にかけることはせず、以下の方法で温めて下さい。

- ・湯煎で温める（※フタは開けておく）
- ・鍋に移し替えて温める
- ・耐熱容器に移し替えて、ラップをしてレンジで温める